

# 超重量品輸送の世界・2

物流博物館では、昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵していますが、これまでに約100本に及ぶ記録映像のデジタル化を完了しました。このたび、デジタル化を記念して、その中からテーマごとに作品を選び、上映会を行うこととなりました。今後は月ごとに上映作品を変え、3月まで毎月1回の上映会を開催する予定です。色彩や傷等を修復し、新たに甦った過去の映像をぜひご覧ください。



「380トンジンボール」より



「南十字星のもとで-538トンバキュームタワー建設の記録-」より



「ひとすじの道-160トン変圧器を運ぶ-」より

2018年 **2月25日(日)**

第1回：10時30分～12時00分  
第2回：13時00分～14時30分  
第3回：15時00分～16時30分

※下記作品を1日3回上映します。予約は不要です。 ※参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

<上映作品> ※すべてデジタルリマスター版による上映です。

①「380トンジンボール」

1961年頃/カラー/21分/製作：新潟映画社/企画：日本通運(株)  
内容：日本通運による、東北電力・新新潟変電所(現・新潟変電所=新潟県五泉市)納入の日立製作所国分工場製250トン・290000KVAトランス輸送の記録。

②「南十字星のもとで-538トンバキュームタワー建設の記録-」

1980年/カラー/23分/製作：電通映画社/企画：日本通運(株)  
内容：シンガポール西部のジュロンの工業地帯に立地するモービルオイル・シンガポール精油所において、千代田化工建設(株)が潤滑油製造プラントの建設を行った際に、日本通運(株)が手がけた巨大なバキュームタワーの水切り・据え付け・運搬作業を記録した映画。

③「ひとすじの道-160トン変圧器を運ぶ-」

1979年/カラー/32分/製作：岩波映画製作所/企画：日本通運(株)  
内容：日立製作所国分工場で製作された100万ボルト変圧器を、茨城県日立港から愛知県豊田市近郊の中部電力東部変電所まで運ぶ重量品輸送の記録。

昨年9月に続く超重量品輸送映画の第2弾！港湾でのジンボールデリック作業、海外の製油所での巨大バキュームタワーの輸送・建設作業、大型変圧器を運ぶ超重量トレーラーを記録した作品を上映します。

今後の開催予定

第9回 3月25日(日) テーマ：「高度経済成長と生活革命」

【開館時間】 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】 毎週月曜日・毎月第4火曜日(これらが祝日・振替休日の場合開館)、祝日の翌日、2017年12月11～15日・12月25日～2018年1月9日  
【入館料】 高校生以上200円/65歳以上100円/中学生以下無料  
\*団体20名以上半額

